

南ア月報
(2021年1月)

【内政】

- 与党 ANC 創立 109 周年記念日ステートメント
- ロックダウン「調整された」レベル3の延長
- 国家的災害事態の延長
- ムテンブ大統領府大臣の逝去
- 与党 ANC 全国執行委員会 (NEC) レホトラ会合の実施

【外政】

- サブリー・ブカドゥム・アルジェリア外相の南ア訪問
- 南アの国連安保理非常任理事国任期終了に際しての国際関係・協力省声明
- パレスチナにおける選挙に関する国際関係・協力省声明
- モヨ・ジンバブエ外務国際貿易大臣に逝去に際しての国際関係・協力省声明
- 核兵器禁止条約発効に関する国際関係・協力省声明

【経済】

<経済指標>

- 消費者物価指数
- 為替レート
- 製造業生産高
- 鉱業生産高

<出来事>

- アフリカ大陸自由貿易圏 (AfCFTA) が運用開始
- 南ア準備銀行(中銀)が政策金利を 3.5%に据置き
- 南ア観光省が 12 億ランドのエクイティファンドを発表

【警備】

- 南ア治安情勢 (ロックダウン規制違反関連)

1 内政

●与党 ANC 創立 109 周年記念日ステートメント

8 日、与党 ANC 創立 109 周年記念日に際し、ラマポーザ党首がバーチャル形式で演説を行い、同党の今年 1 年の方針を表明する「1 月 8 日ステートメント」(the January 8th Statement) を発表した。なお、毎年創立記念として、数万人の党員が集まる大規模な記念ラリーが行われ、今年もリンポポ州にて開催が予定されていたが、新型コロナウイルス・パンデミックのため、バーチャル方式でのステートメント発表となった。

同ステートメントでは、2021 年の ANC の最優先課題として①コロナウイルスを打ち勝つために、南ア人全員で行動すること、②経済を再生と回復の道に置くこと、③ANC の抜本的な刷新、④より良いアフリカとより良い世界を構築するために働くこと、の 4 点が挙げられた。

●ロックダウン「調整された」レベル 3 の延長

11 日、ラマポーザ大統領は演説を行い、調整されたレベル 3 (the adjusted Level 3) の継続について発表した。演説においてラマポーザ大統領は、2021 年、このパンデミックを克服するために我々がすべきこととして、①感染速度を遅らせるために可能な限りのことを行い、以前 (感染第一波の際) にも行ったように、感染曲線を平坦にする、②大規模なワクチン接種プログラムを実施し、人口全体で免疫を獲得し、ウイルスの拡散を遅らせる、という 2 点を挙げ、当初 1 月 15 日まで継続され、南ア国内のパンデミックの状況に基づき見直すとしていた各種規制を延長した。昨年 12 月 28 日に強化されたほとんどの規制が継続となり、さらに、陸路国境における感染拡大の懸念から、南アのすべての陸地国境が、一部例外を除き、2021 年 2 月 15 日まで閉鎖となった。

●国家的災害事態の延長

13 日、南ア政府は国家的災害事態 (the national state of disaster) の 1 ヶ月延長 (2021 年 2 月 15 日まで) を発表した。

●ムテンブ大統領府大臣の逝去

21 日、ムテンブ (Jackson Mthembu) 大統領府大臣が、11 日に新型コロナウイルス陽性と発表された後、合併症により逝去した。ラマポーザ大統領は、同大臣の葬儀を公葬 (an Official Funeral Category 1) とする旨宣言した。

24 日、同大臣の公葬がムプマランガ州 Emalahleni の故大臣の自宅で執り行なわれ、ラマポーザ大統領が出席した。弔辞の中でラマポーザ大統領は、ムテンブ大臣は、コロナウイルスのパンデミックを食い止めるための国の努力の先頭に立っていた、我々は、政治的な違いを超越することができ、共通の目標を追求するために、広く声をかけ、協力関係を作ることができる人物を失った旨述べた。

なお、新型コロナウイルス・パンデミック以降、南アで閣僚の感染は 6 例目、今回が初めての死亡例となった。

●与党 ANC 全国執行委員会 (NEC) レホトラ会合の実施

24 日、与党 ANC 全国執行委員会 (NEC) は特別な集中討議であるレホトラ (Lekgotla) 会合を招集し、経済復興・復興計画を中心に議論が行われた。閉会挨拶においてラマポーザ大統領は、COVID パンデミックが続く中、他の形態の国の支援を受けていない失業者への最低所得保障の延長の検討などについて言及した。

2 外政

●南アの国連安保理非常任理事国任期終了に際しての国際関係・協力省声明

1日、南ア国際関係・協力省は声明を発売し、2020年12月31日で終了した、国連安全保障理事会の非常任理事国としての2年間の任期を振り返った。声明の中でパンドール大臣は、「南アは、国際の平和と安全を確保するためのグローバルな機関で国際社会の利益に貢献できたことを誇りに思う。安保理での南アの任期は、アフリカ大陸における紛争停止（Silencing the Guns）に貢献する機会を与えてくれた。南アはまた、予防外交、包摂的対話、紛争後の復興と開発を通じた紛争の平和的解決を促進するために、非常任理事国の任期を活用した。」旨述べた。

●サブリー・ブカドゥム・アルジェリア外相の南ア訪問

12日、サブリー・ブカドゥム（H E Mr Sabri Boukadoum）アルジェリア外相が南アを実務訪問し、パンドール国際関係・協力大臣と外相会談を行った。二国間会談の冒頭、パンドール大臣は、2019年の両国前外相の相互訪問に続き、ブカドゥム外相の南ア訪問を歓迎するとともに、解放運動時代からの南アとアルジェリアの歴史的な友好関係の下、二国間の協力とパートナーシップを調整・形成するための構造化された二国間メカニズムである二国間委員会（BNC）を通じて戦略的関係を構築していく旨述べた。

パンドール大臣はまた、新型コロナウイルス感染第二波の真っ只中にある南アは、同じく被害を受けているアフリカ大陸全体にワクチンが行き渡るよう、AUとして共に取り組んでいく旨述べた。

●パレスチナにおける選挙に関する国際関係・協力省声明

16日、南ア国際関係・協力省は、15日にアッバース・パレスチナ大統領（H. E. Dr. Mahmoud Abbas, President of Palestine）がパレスチナにおける立法評議会選挙・大統領選挙・民族評議会選挙に関する議長令を発表したことに留意し、これを歓迎する声明を発売した。声明の中で、和解プロセスと全てのパレスチナ人の団結は、占領に対する闘いと人権にとって重要な一歩であり、南アは、パレスチナ国内の和解プロセスを支援し続けるとした。

●モヨ・ジンバブエ外務国際貿易大臣に逝去に際しての国際関係・協力省声明

20日、南ア国際関係・協力省は、新型コロナウイルスに感染して逝去したモヨ（Hon. Dr. Sibusiso Busi Moyo）ジンバブエ外務国際貿易大臣に対する追悼声明を発売した。声明の中で、パンドール大臣は、「ラマポーザ大統領、南ア政府、そして国民を代表して、ジンバブエ政府と国民に心からの哀悼の意を伝えたい。」旨述べた。また、パンドール大臣は、南アとジンバブエの間の深い二国間関係を強化するためのモヨ大臣の献身とコミットメントを称賛した。

●核兵器禁止条約発効に関する国際関係・協力省声明

22日、南ア国際関係・協力省は、核兵器禁止条約発効を歓迎する声明を発売した。声明の中で、パンドール国際関係・協力大臣は、「本日は核兵器を除去する人類の努力における転換点である。同条約は核兵器及び他の大量破壊兵器の除去への取組を求めた1946年の最初の国連総会決議の集大成である、同条約は核兵器に関する最後の言葉ではなく、核兵器のない世界を究極的に達成し維持する体制を発展させる上での非常に重要な一歩であると言っても過言ではない。」「この機会に、核兵器がいかなる者によっても、いかなる状況においても再度使用されることは決してないことの唯一の保障として、核兵器の完全なる除去に対する南アのコミットメントを新たにしたい。」旨述べた。

また、同日、ポーテス同省副大臣が本件を歓迎するオンラインに行事に参加し、本条約の発効は、マンデラ元大統領の1998年の最後の国連総会での演説における「恐ろしい大量破壊兵器を排除すること拒否することを正当化するために議論を展開してきた人々に対し、なぜそれを必要としているか」という疑問を投げかけなければならない。」趣旨の発言を賞賛するにふさわしい出来事である旨述べた。

3 経済

<経済指標>

●消費者物価指数

2020年12月の消費者物価指数(CPI)は前月から0.2%上昇、年間消費者物価インフレーション率は3.1%と、前月に比べ0.1%低下した。(南ア統計局、1月20日)

●為替レート

2020年1月31日付(南ア準備銀行)

6.8876 ランド/円

15.1903 ランド/米ドル

18.3932 ランド/ユーロ

●製造業生産高

2020年11月の製造業生産高は、前年同月比3.5%減。主なマイナス要因は、石油、化学製品、ゴム及びプラスチック製品で9.6%減、食料品及び飲料で2.9%減、鉄鋼、非金属製品、金属製品及び機械で3.9%減。また2020年9月～11月の季節調節後生産高は同年6月～8月の3ヵ月から8.9%増。製造業10部門中全ての部門で生産高増となった。(南ア統計局、1月12日)

●鉱業生産高

2020年11月の鉱業生産高は、前年同月比11.6%減。主なマイナス要因は、鉄鉱石で35.5%減、白金で16.1%減、マンガン鉱石で15.9%減、石炭で5.9%減。また2020年9月～11月の季節調節後生産高は同年6月～8月の3ヵ月から6.3%増。(南ア統計局、1月19日)

<出来事>

●アフリカ大陸自由貿易圏(AfCFTA)が運用開始

2020年1月1日、AfCFTAの運用が開始され、南ア政府は本協定に関する国内の法的及び行政プロセスを施行した。55のアフリカ連合加盟国のうち54か国が署名しており、34か国は既に批准書をアフリカ連合委員会に寄託。本協定の開始に対し、パテル貿易・産業・競争大臣は、「完全に機能するまで時間がかかるものの、アフリカにとって変革をもたらす可能性があり、新植民地主義の貿易パターンを変えることができる。」と歓迎の声明を発表した。

●南ア準備銀行(中銀)が政策金利を3.5%に据置き

21日、南ア準備銀行は、金融政策決定会合を開き、政策金利を3.5%に据置くことを発表した。また、2021年のインフレ率を3.8%、GDP成長率を3.5%と予想した。

●南ア観光省が12億ランドのエクイティファンドを発表

南ア観光省は、新型コロナウイルスにより深刻な打撃を受けた観光業の再建を目的とした総額12億ランドのエクイティファンドの設立を発表した。政府及び南ア主要銀行が資金提供を行う本ファンドは、小規模観光業及び黒人経営者の支援を目的としている。

4 警備

●南ア治安情勢(ロックダウン規制違反関連)

12日、ツェレ警察大臣が、調整されたレベル3でのロックダウン規制違反に対する警察の取り締まり状況につき、テレビインタビューにて「既に7,000人以上がマスクの不着用で逮捕された。逮捕された場合、罰金であろうが刑事裁判であろうが、手続きの如何にかかわらず犯罪記録が残ることとなる。」などと述べ、公共の場にてマスク不着用の場合は逮捕されると警告し、ロックダウン規制違反に対する厳しい取り締まり姿勢を示した。